

カナストーリーのグラスを手に語り合うカップル



石狩「恋人の聖地」

永遠の愛を誓う  
初の結婚式  
市長も祝福

【石狩】石狩市厚田区の「恋人の聖地」でプロポーズの日(三日)同市内のカップルが結婚式を挙げた。昨年八月に誕生した恋人の聖地での結婚式は初めてで、友人や田岡克介市長のほか、訪れた若い男女ら約七十人が祝福した。式を挙げたのは、会社



「恋人の聖地」で初めてとなる結婚式を挙げた細川さんと理香さん

員の細川貴憲さん(38)と居酒屋店主の岩淵理香さん(32)が二生ついでに行きまふさわしい場所で、永遠の愛を誓い合ってもらいうと、新郎新婦の友人が企画した。式で、貴憲さんが「ずっと一緒にいてほしい」と愛を誓った。

会場では、恋人の聖地をテーマに地元的地ビール会社と藤女子大が共同開発したピンク色の発泡酒「カナストーリー」が配られ、祝杯をあげた。二人は「たぐさんの人に祝っていたら、忘れられない結婚式になりました」と感激していた。

六本木ヒルズで限定販売

地ビール会社日本地麦酒工房(石狩)と藤女子大生が、恋をテーマに開発した発泡酒「カナストーリー」が三日から、東京随一の流行発信地、六本木ヒルズ五十二階の展望台「カブエ」で期間限定販売されている。カップルたちは、グラスに注がれたピンクの酒と、眼下に広がる街のロマンチックな眺めに酔っている。「カナストーリー」は、石狩市内の厚田公園展望台が、静岡市のNPO法人から、愛を誓うにふさわしい観光地「恋人の聖地」に選ばれたことちなんで開発。味わいや色にこだわり昨年末から道内だけで発売、若い女性を中心に好評という。今回は、六本木ヒルズが同日から七月八日まで

明く恋人をテーマにしたイベント期間中、同じく「恋人の聖地」の展望台で一杯八百円で提供され、盛り上げること。カップルやスーツ姿で、息つくヒルズ族らでにぎわうカブエで、神奈川県男子学生(21)と遠距離恋愛中の札幌市出身で仙台市に住む女性会社員(21)は「一月ぶりのデートのいい思い出になるとほお染めていた。